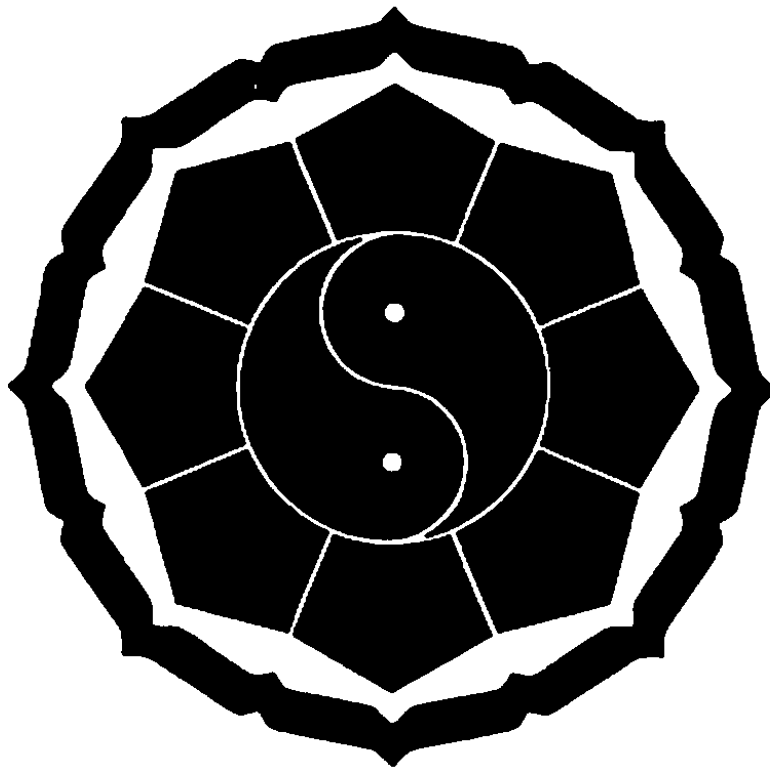


福井県知事杯
第22回福井県剣道選手権大会



日時 令和7年7月20日(日)10:00開会
会場 福井県立武道館
主催 一般財団法人 福井県剣道連盟
後援 福井県 福井新聞社

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとようとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
財団法人全日本剣道連盟

大 会 次 第

1. 開 会 式

- (1) 選 手 整 列
- (2) 開 式 通 告
- (3) 開 会 宣 言
- (4) 国 歌 斉 唱
- (5) 開 会 挨 拶
- (6) 来 賓 祝 辞
- (7) 競 技 上 の 注 意
- (8) 閉 式 通 告

2. 試 合

男子の部・女子の部 (準決勝まで)

(休 憩)

男子の部・女子の部 (決勝)

3. 閉 会 式

- (1) 選 手 整 列
- (2) 開 式 通 告
- (3) 成 績 発 表
- (4) 表 彰
- (5) 閉 会 挨 拶
- (6) 閉 会 宣 言
- (7) 閉 式 通 告

福井県知事杯 第22回福井県剣道選手権大会要項

1 趣 旨

福井県剣道連盟会員の中から選ばれた心技ともに優れた選手が、知事杯の獲得を目指して競技を行い、広く県民に披露することにより、剣道の普及振興を図ろうとするものである。

2 日 時

令和7年7月20日（日）午前10時00分開会（開館午前8時30分）

3 会 場

福井県立武道館 福井市三ツ屋町8-1-1

4 主 催

一般財団法人福井県剣道連盟

5 後 援

福井県、福井新聞社

6 全日本剣道選手権大会（男女）の出場

本大会の優勝者は、全日本剣道選手権大会、全日本女子剣道選手権大会の福井県代表選手とする。

7 出場選手資格

- （1）福井県剣道連盟の登録会員であること（県内高校に在籍する高校生はこの限りではない）。
登録会員とは、県内のどこかの地区剣道連盟に所属している者をさす。
- （2）男子は満20歳、女子は満18歳以上とし、段位の制限はしない。
- （3）年齢計算
- ①男子 第73回全日本剣道選手権大会前日の令和7年11月2日を基準
平成17年11月2日以前に生まれた者
- ②女子 令和8年4月1日を基準
平成20年4月1日以前に生まれた者

8 各地区・団体等からの出場可能人数（上限）

※令和6年3月7日の理事会で承認されたルールによる。

地区・団体等	男子	女子
前回（第21回大会）優勝者（注1）	1	1
県警	6	2
学剣連	3	4
強化指定選手（注2）	4	4
福井地区	6	5
坂井地区	6	6
越前地区	4	2
鯖江地区	3	2
南条地区	3	2
敦賀地区	4	3
三方地区	3	2
若狭 丹生 大野 勝山 大飯 の各地区	各2	各2

（注1）男子 林田匡平（学剣連） 女子 大西ななみ（学剣連） （敬称略）

（注2）県スポーツ協会登録の国民スポーツ大会強化指定選手をさす。

今年度の該当者は以下の通り

男子 中村翔太郎 奥村龍也 山崎由樹 富田成慈
女子 大西ななみ 山田優生 加藤藍子 田中更幸

（敬称略）

9 出場選手の申込み

- (1) 別紙申込用紙による
- (2) メールで提出するものとする
- (3) 期日 令和7年6月23日(月) 締め切り(厳守)
- (4) 送付先
(一財) 福井県剣道連盟 事務局
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
0776-28-6616 e-mail: fkikendo@herb.ocn.ne.jp

10 大会開催の可否に関する最終決定

総務企画運営部において決定する。最終判断は大会一週間前(7/14)に行う。中止の場合は速やかに各地区・団体に通知する。

11 試合・審判規則および試合方式

- (1) 全日本剣道連盟試合・審判規則、同細則に準じて行う。
- (2) 試合時間は、男女とも5分とする。
- (3) 試合は3本勝負とし、試合時間内に勝敗の決しない場合は延長戦を行う。延長戦は、3分ごとに区切って勝敗の決するまで行う。
- (4) 試合は男女別のトーナメント方式とする。
- (5) 組合せは、大会事務局において事前に抽選を行い決定する。
- (6) 前回(第21回大会)のベスト4をシードとする。

12 剣道用具について

本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下の通りとする。

- (1) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日、検量を必ず受けること。
 - ①竹刀の長さ・重さ・太さは、「13 竹刀の検量について」の通りとする。
 - ②ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (2) 小手については次の事項を遵守すること。
 - ①小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があること。
 - ②小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内であること。
- (3) 面については次の事項を遵守すること。
 - ①面ぶとんは、安全性を保つため肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があること。
- (4) 剣道着については次の事項を遵守すること。
 - ①剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること(構えたときに肘関節が隠れること)。

13 竹刀の検量について

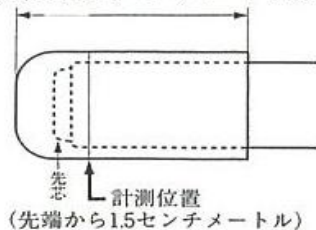
- (1) 竹刀の検量は大会当日行う。不合格の竹刀は本大会では使用できない。
- (2) 検量の基準は次のとおりとする。
 - ①男子
長さ120cm以下 重さ510g以上 先革の太さ26mm以上 ちくとう最小直径21mm以上
 - ②女子
長さ120cm以下 重さ440g以上 先革の太さ25mm以上 ちくとう最小直径20mm以上
 - ③竹刀先革の長さは、男女とも50mm以上

④ただし、二刀の場合は次のとおりとする。

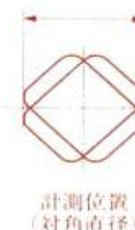
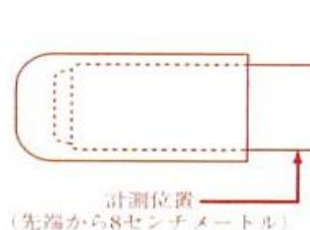
	大刀				小刀			
	長さ (cm)	重さ (g)	太さ (mm)		長さ (cm)	重さ (g)	太さ (mm)	
			先端部	ちくとう部			先端部	ちくとう部
男子	114 以下	440 以上	25 以上	20 以上	62 以下	280 ～ 300	24 以上	19 以上
女子	114 以下	400 以上	24 以上	19 以上	62 以下	250 ～ 280	24 以上	19 以上

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



14 ドーピングについて

本大会においてはドーピング検査を実施しないが、公正な試合が行われるよう各自留意すること。

15 表彰

- (1) 優勝者には知事杯・賞状および賞品を授与する。
- (2) 第二位、第三位（2名）に賞状および賞品を授与する。

16 経費

選手の派遣に要する経費は、所属連盟・団体の負担とする。

17 安全対策

- (1) 主催者は、大会中の出場選手の事故に対し傷害保険に加入する。ただし、大会会場への往復上は対象としない。
- (2) 感染症対策
 - ①選手は、試合の際は面マスクまたはマウスシールドを着用すること（試合時以外のマスクの着用は任意とする）。
 - ②選手以外のマスクの着用は任意とする。

18 問い合わせ先

一般財団法人 福井県剣道連盟

事業部長 岡田 要 携帯 090-6274-4668

メール eskk1964@gmail.com

19 その他

- (1) 開閉会式の参加について
選手は、開会式・閉会式には全員、剣道着・袴に胴・垂をつけて出席すること。
- (2) 大会の映像公開に関して
当連盟広報部において、大会の様子を撮影し（静止画像）、連盟のHPにおいて公開する予定である。自らの映像をHP上で公開することを望まない場合は、県剣道事務局まで連絡すること（大会前日までに）。

大 会 役 員 (順不同)

名 誉 大 会 長 杉 本 達 治

大 会 長 片 山 外 一

副 大 会 長 相 模 利 朗 河 越 純 二 小 堀 友 廣

大 会 顧 問 土 谷 靖 彦 岩 崎 貞 夫 増 田 美 希 子
 田 中 一 憲 栃 本 正 道 小 西 清 光
 岡 田 盛

大 会 参 与 増 川 文 武 橋 本 有 司 今 村 憲 和
 河 合 岩 暢 荻 原 昭 人 前 田 純 夫
 松 本 敏 夫 藤 田 雄 治 山 本 浩 志
 帰 山 正 信 金 卷 健 朗 奥 井 俊 雄
 福 島 一 郎 井 上 順 也

大 会 委 員 長 西 川 讓

大 会 副 委 員 長 堀 江 範 雄 坂 本 裕 一 郎 山 本 英 俊

大 会 委 員 川 野 学 岩 本 卓 也 柳 原 潤 一 郎
 岡 田 要 上 嶋 啓 芳 松 井 香 里
 齋 藤 佳 男 道 内 由 佳 里 田 中 秀 幸
 松 永 毅 中 村 英 紀 塚 田 直 人
 林 茂 夫

競 技 役 員 (順不同)

競 技 委 員 長	岡 田 要		
審 判 長	堀 江 範 雄		
審 判 員	第一試合場	主任	川 野 学
	柳 原 潤一郎		堤 腰 一 昭
	小 堀 義 広		中 村 英 紀
	第二試合場	主任	小 辻 淳 二
	山 本 英 俊		松 井 宏 文
	松 永 毅		鈴 木 秀 典
坪 田 隆 雄	大 辻 俊 裕	米 納 智 弥	森 宜 子
総 務 委 員	岡 田 惠 子		
試 合 場 委 員	第一試合場		
	主任	田 中 隆 佳	副主任 坂 口 一 成
			藤島高校生 6 名
	第二試合場		
	主任	辻 慎二郎	副主任 八 幡 喜 己
			藤島高校生 5 名
選 手 委 員	第一試合場	主任	相 模 宏二郎
	第二試合場	主任	高 嶋 寿 美
			梅 原 保 高
			小 村 雅 恵
本 部 記 録 委 員	主任	中 谷 実 伸	
		松 岡 由 佳	内 藤 洋
			北 川 翔太朗
式典・放送委員		渡 辺 聡 子	上 野 早 苗
		内 藤 洋	北 川 翔太朗
		大 味 香代子	小 村 雅 恵
検 量 委 員	男 子		主任
		中 谷 実 伸	相 模 宏二郎
			田 中 隆 佳
			辻 慎二郎
	女 子		主任
		梅 原 保 高	八 幡 喜 己
			坂 口 一 成
			内 藤 洋
受 付 委 員		大 味 香代子	松 岡 由 佳
		島 田 奈美江	岡 田 惠 子
接 待 委 員		大 味 香代子	岡 田 惠 子
広 報 委 員		上 嶋 啓 芳	坂 本 裕一郎
救 護 委 員	島 田 奈美江		

令和7年度 知事杯 試合進行表

第一試合場	第二試合場
1. 男子個人戦（1・2回戦） ①～④の試合 ⑩～⑬の試合	2. 男子個人戦（1・2回戦） ⑤～⑨の試合 ⑭～⑲の試合
3・4の開始をそろえる	
3. 男子個人戦（3回戦～準決勝） ⑳～㉔の試合 5. 女子決勝戦 6. 男子決勝戦	4. 女子個人戦（1回戦～準決勝） ①～⑱の試合

※試合進行の状況により変更の可能性があります。

※開会式以降も小道場を開放します。アップ等に利用してください。

男子の部

第22回 福井県知事杯 組み合わせトーナメント表

番号	選手名	所属	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝
1	山崎 由樹	強化						
2	笠嶋 洸瑠	福井	①	⑩				
3	森 陽輝	敦賀			⑫			
4	松村 怜治	三方		⑪				
5	内田 駿哉	県警					⑭	
6	牧野 宏祐	坂井		⑫				
7	佐々木 尚紀	鯖江						
8	内田 大樹	県警	②		⑮			
9	奥山 登	越前		⑬				
10	三田村 凌太郎	南条					⑯	
11	富田 成慈	強化						
12	田邊 卓士	敦賀	③	⑭				
13	安原 響希	坂井			⑮			
14	田中大志	県警		⑮				
15	宮嶋 凜太	福井					⑰	
16	坂元 蒼	越前		⑮				
17	新渡戸 理貴	坂井						
18	北島 正貴	鯖江	④		⑮			
19	徳橋 知輝	福井		⑮				
20	渡邊 龍二郎	学剣連						⑳
21	山本 勇樹	三方						
22	岩崎 健太郎	越前	⑤	⑮				
23	高橋 泰平	丹生			⑮			
24	梅田 隼仁	福井		⑮				
25	橋本 恭佑	県警					㉑	
26	梅田 圭仁	学剣連		⑮				
27	膳所 龍五	福井						
28	續田 真也	県警	⑥		⑮			
29	久保田 智志	敦賀		⑮				
30	安原 謙慎	坂井						
31	寛 佑哉	三方					㉒	
32	松田 智樹	敦賀	⑦	⑮				
33	布目 侑大	越前			⑮			
34	奥田 大也	福井		⑮				
35	石倉 良澄	大野						
36	小西 鷲	若狭					㉓	
37	内山田 朋弥	坂井	⑧	⑮				
38	畑 祐一郎	鯖江						
39	長野 和生	学剣連	⑨					
40	戸島 昂紀	県警		⑮				
41	奥村 龍也	強化						

女子の部

第22回 福井県知事杯 組み合わせトーナメント表

番号	選手名	所属	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝
----	-----	----	-----	-----	------	-----	----

1	大西 ななみ	前回優勝					
2	井上 楓	鯖江	①	③			
3	澤 美咲	三方			⑪		
4	廣門 茜	福井		④			
5	藤原 日菜乃	南条				⑮	
6	平田 はな	福井		⑤			
7	八幡 明依	県警			⑫		
8	辻崎 実希	坂井		⑥			
9	森川 沙恵	敦賀					
10	小山 結衣	福井		⑦			
11	杉本 和香	敦賀			⑬		
12	竹元 和葉	福井		⑧			
13	石橋 沙希	坂井				⑯	
14	宇野 眺	三方		⑨			
15	狩川 怜那	敦賀					
16	川端 麻奏	南条	②		⑭		
17	川上 友梨子	福井		⑩			
18	梅原 陽乃	越前					

大会成績表

男子の部

優勝

二位

三位

三位

女子の部

優勝

二位

三位

三位

栄 光 の 記 録

		男 子			女 子		
開催回数	順 位	氏 名	所 属	段 位	氏 名	所 属	段 位
第 1 回 武生市 H16.6.27	優 勝	西 勇 人	県 警	五 段	細 川 梨 絵	武 生	参 段
	第 2 位	山 形 昌 平	県 警	四 段	道 内 由佳里	学 剣 連	錬士六段
	第 3 位	畑 祐一郎	鯖 江	五 段	高 嶋 寿 美	学 剣 連	四 段
	第 3 位	新 田 雅 和	県 警	五 段	橋 本 一 美	坂 井	参 段
第 2 回 丸岡町 H17.6.26	優 勝	中 山 雅 浩	県 警	五 段	光 永 聖 子	学 剣 連	参 段
	第 2 位	堤 腰 一 昭	敦 賀	錬士七段	谷 口 典 子	武 生	五 段
	第 3 位	澤 田 泰 治	南 条	五 段	高 嶋 寿 美	学 剣 連	四 段
	第 3 位	西 川 航 平	南 条	参 段	吉 川 雅 恵	坂 井	五 段
第 3 回 鯖江市 H18.6.25	優 勝	西 勇 人	県 警	五 段	細 川 梨 絵	越 前	参 段
	第 2 位	道 内 博 道	福 井	錬士六段	吉 川 雅 恵	学 剣 連	五 段
	第 3 位	竹 内 健	県 警	五 段	橋 本 一 美	坂 井	参 段
	第 3 位	脇 本 一 誠	福 井	四 段	今 村 彩 乃	福 井	弐 段
第 4 回 福井市 H19.6.10	優 勝	坂 田 直 哉	学 剣 連	五 段	山 田 聖 子	越 前	参 段
	第 2 位	西 勇 人	県 警	五 段	谷 口 典 子	越 前	五 段
	第 3 位	堀 哲 也	県 警	五 段	高 嶋 寿 美	福 井	四 段
	第 3 位	新 田 雅 和	県 警	五 段	道 内 由佳里	福 井	錬士六段
第 5 回 敦賀市 H20.7.27	優 勝	竹 内 健	県 警	五 段	山 田 聖 子	越 前	四 段
	第 2 位	西 川 航 平	南 条	四 段	高 嶋 寿 美	学 剣 連	五 段
	第 3 位	坂 田 直 哉	学 剣 連	五 段	小 村 雅 恵	学 剣 連	五 段
	第 3 位	西 勇 人	県 警	五 段	谷 口 典 子	越 前	五 段
第 6 回 大野市 H21.6.28	優 勝	新 田 雅 和	県 警	五 段	伊 藤 藍 子	坂 井	参 段
	第 2 位	竹 内 健	県 警	五 段	堀 端 愛	越 前	弐 段
	第 3 位	中 村 好 伸	福 井	四 段	佐々木 悠	坂 井	参 段
	第 3 位	鈴 木 秀 典	県 警	五 段	大 柳 奈 未	越 前	初 段
第 7 回 小浜市 H22.6.27	優 勝	相 馬 友	福 井	参 段	山 田 聖 子	越 前	四 段
	第 2 位	堀 哲 也	県 警	五 段	高 嶋 寿 美	学 剣 連	五 段
	第 3 位	中 村 好 伸	福 井	四 段	伊 藤 藍 子	坂 井	参 段
	第 3 位	長谷川 峻 右	県 警	四 段	大 柳 奈 未	越 前	初 段
第 8 回 南越前町 H23.6.26	優 勝	鈴 木 秀 典	県 警	五 段	山 田 聖 子	越 前	四 段
	第 2 位	長谷川 峻 右	県 警	五 段	伊 藤 藍 子	坂 井	参 段
	第 3 位	相 馬 友	福 井	参 段	高 嶋 寿 美	学 剣 連	五 段
	第 3 位	前 田 浩 由	県 警	四 段	川合 明日香	福 井	参 段
第 9 回 三方地区 H24.6.24	優 勝	鈴 木 秀 典	県 警	五 段	山 田 聖 子	越 前	四 段
	第 2 位	長谷川 峻 右	県 警	五 段	伊 藤 藍 子	坂 井	参 段
	第 3 位	鹿 本 裕 登	県 警	四 段	北 川 敦 子	坂 井	参 段
	第 3 位	元 井 健 伍	敦 賀	五 段	田 中 更 幸	福 井	参 段
第10回 丹生地区 H25.6.9	優 勝	前 田 浩 由	県 警	五 段	山 田 聖 子	越 前	五 段
	第 2 位	澤 田 泰 治	学 剣 連	六 段	伊 藤 藍 子	坂 井	四 段
	第 3 位	長谷川 峻 右	県 警	五 段	川合 明日香	福 井	参 段
	第 3 位	脇 本 一 誠	福 井	五 段	堀 端 愛	県 警	参 段
第11回 大飯地区 H26.6.15	優 勝	前 田 浩 由	県 警	五 段	山 田 聖 子	越 前	五 段
	第 2 位	瀬 尾 祐 輝	県 警	五 段	北 川 藍	福 井	参 段
	第 3 位	内 藤 洋	県 警	四 段	鈴木 香菜子	敦 賀	弐 段
	第 3 位	脇 本 一 誠	福 井	六 段	河 野 真 由	福 井	参 段

栄 光 の 記 録

		男 子			女 子		
開催回数	順 位	氏 名	所 属	段 位	氏 名	所 属	段 位
第12回 福井県立 武道館 H27.6.14	優 勝	富 田 成 慈	鯖 江	四 段	伊 藤 藍 子	坂 井	四 段
	第2位	金 子 亮 介	県 警	四 段	山 田 聖 子	越 前	五 段
	第3位	内 藤 洋	県 警	四 段	鈴木 香菜子	敦 賀	弐 段
	第3位	鈴 木 秀 典	県 警	六 段	坂 本 菜 子	三 方	参 段
第13回 福井県立 武道館 H28.6.26	優 勝	内 藤 洋	県 警	四 段	山 田 聖 子	越 前	五 段
	第2位	久保田 広行	学 剣 連	参 段	伊 藤 藍 子	坂 井	四 段
	第3位	林 田 匡 平	学 剣 連	四 段	坂 本 菜 子	三 方	参 段
	第3位	鹿 本 裕 登	県 警	五 段	藤 本 奈 々	三 方	参 段
第14回 福井県立 武道館 H29.7.9	優 勝	林 田 匡 平	学 剣 連	五 段	山 田 聖 子	越 前	五 段
	第2位	小 谷 佳 己	県 警	四 段	伊 藤 藍 子	坂 井	四 段
	第3位	金 子 亮 介	県 警	五 段	小 辻 朋 未	敦 賀	弐 段
	第3位	中 村 好 伸	福 井	六 段	橋 本 一 美	坂 井	五 段
第15回 福井県立 武道館 H30.7.8	優 勝	林 田 匡 平	学 剣 連	五 段	大 西 な な み	学 剣 連	四 段
	第2位	金 子 亮 介	県 警	五 段	堤 腰 琴 菜	敦 賀	参 段
	第3位	内 藤 洋	県 警	五 段	山 川 咲 愛	敦 賀	参 段
	第3位	梅 田 圭 仁	学 剣 連	四 段	山 田 聖 子	越 前	六 段
第16回 福井県立 武道館 R1.7.15	優 勝	金 子 亮 介	県 警	五 段	大 西 な な み	学 剣 連	五 段
	第2位	林 田 匡 平	学 剣 連	五 段	堤 腰 琴 菜	敦 賀	参 段
	第3位	前 田 浩 由	県 警	六 段	川 端 心 愛	南 条	参 段
	第3位	内 藤 洋	県 警	五 段	八 幡 明 依	福 井	四 段
第17回	優 勝	新型コロナウイルス感染症流行のため中止					
	第2位						
	第3位						
	第3位						
第18回 福井県立 武道館 R3.6.27	優 勝	林 田 匡 平	学 剣 連	五 段	大 西 な な み	学 剣 連	五 段
	第2位	辻 内 勇 介	福 井	参 段	梅 原 陽 乃	越 前	参 段
	第3位	楠 原 北 斗	福 井	参 段	木 村 真 理 子	敦 賀	弐 段
	第3位	梅 田 圭 仁	学 剣 連	五 段	菅 谷 歩 未	敦 賀	弐 段
第19回 福井県立 武道館 R4.6.26	優 勝	林 田 匡 平	学 剣 連	五 段	大 西 な な み	学 剣 連	五 段
	第2位	田 中 大 志	県 警	五 段	梅 原 陽 乃	越 前	参 段
	第3位	鹿 本 裕 登	県 警	六 段	川 端 心 愛	南 条	弐 段
	第3位	増 田 貴 彦	県 警	五 段	牛 嶋 い つ か	福 井	参 段
第20回 福井県立 武道館 R5.7.17	優 勝	林 田 匡 平	学 剣 連	六 段	大 西 な な み	学 剣 連	五 段
	第2位	山 崎 由 樹	県 警	五 段	梅 原 陽 乃	越 前	参 段
	第3位	内 田 駿 哉	県 警	四 段	牛 嶋 い つ か	福 井	参 段
	第3位	田 中 大 志	県 警	五 段	石 井 心	福 井	参 段
第21回 福井県立 武道館 R6.7.21	優 勝	林 田 匡 平	学 剣 連	六 段	大 西 な な み	学 剣 連	六 段
	第2位	山 崎 由 樹	強 化	五 段	梅 原 陽 乃	強 化	四 段
	第3位	奥 村 龍 也	強 化	参 段	小 山 結 衣	福 井	参 段
	第3位	中 村 翔 太 郎	強 化	参 段	森 川 沙 恵	敦 賀	参 段
第22回 福井県立 武道館 R7.7.20	優 勝						
	第2位						
	第3位						
	第3位						